

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	益子町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	益子町地域通貨運営事業	総事業費	1,841,090	869,684	929,358	1,150,727	878,000	5,668,859
		うち市町支出額	1,841,090	869,679	929,352	1,150,727	878,000	5,668,848
		うち県交付金	916,043	432,839	462,676	0	0	1,811,558
2	賑わい創出事業補助金事業	総事業費	0	0	1,574,780	1,365,196	1,096,294	4,036,270
		うち市町支出額	0	0	500,000	500,000	500,000	1,500,000
		うち県交付金	0	0	250,000	250,000	250,000	750,000
3	ましこ町民大学まちづくり事業	総事業費	0	0	214,200	69,382	150,054	433,636
		うち市町支出額	0	0	141,000	46,000	100,000	287,000
		うち県交付金	0	0	70,000	23,000	19,750	112,750
4	花のまちづくり事業	総事業費	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	1,015,181	45,015,181
		うち市町支出額	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	1,000,000	45,000,000
		うち県交付金	0	0	1,000,000	1,000,000	494,561	2,494,561
5	交流体験の翼事業	総事業費	0	0	0	1,648,829		1,648,829
		うち市町支出額	0	0	0	600,000		600,000
		うち県交付金	0	0	0	300,000		300,000
6	おもてなし補助金事業(陶器市巡回バス運行)	総事業費	0	1,009,728	1,011,096	1,454,910	0	3,475,734
		うち市町支出額	0	300,000	300,000	300,000	0	900,000
		うち県交付金	0	150,000	150,000	150,000	0	450,000
7	おもてなし補助金事業(益子夜市)	総事業費	0	677,108	665,605	570,260	0	1,912,973
		うち市町支出額	0	300,000	300,000	300,000	0	900,000
		うち県交付金	0	150,000	150,000	150,000	0	450,000
8	おもてなし補助金事業(益子さんぼ市)	総事業費	0	1,535,670	1,160,607	903,910	0	3,600,187
		うち市町支出額	0	300,000	262,607	300,000	0	862,607
		うち県交付金	0	150,000	131,303	150,000	0	431,303
9	おもてなし補助金事業(益子の新そば祭り)	総事業費	0	295,474	450,000	450,000	0	1,195,474
		うち市町支出額	0	196,982	300,000	300,000	0	796,982
		うち県交付金	0	98,491	150,000	150,000	0	398,491
10	おもてなし補助金事業(トレラン益子)	総事業費	0	604,810	650,000	650,000	0	1,904,810
		うち市町支出額	0	58,810	0	0	0	58,810
		うち県交付金	0	29,405	0	0	0	29,405
11	おもてなし補助金事業(ポターリングましこ)	総事業費	1,695,300	1,428,000	285,394	1,500,000	0	4,908,694
		うち市町支出額	300,000	300,000	190,262	0	0	790,262
		うち県交付金	150,000	150,000	95,131	0	0	395,131
12	おもてなし補助金事業(益子の雛めぐり)	総事業費	0	748,700	797,383	819,236	0	2,365,319
		うち市町支出額	0	300,000	300,000	300,000	0	900,000
		うち県交付金	0	150,000	150,000	150,000	0	450,000
13	おもてなし補助金事業(ましこdeカフェ)	総事業費	0	0	0	450,000		450,000
		うち市町支出額	0	0	0	300,000		300,000
		うち県交付金	0	0	0	150,000		150,000
14	益子町地域創生活動費補助事業(国内外との文化交流事業)	総事業費	0	0	1,173,100	364,706	0	1,537,806
		うち市町支出額	0	0	782,000	242,000	0	1,024,000
		うち県交付金	0	0	391,000	121,000	0	512,000
15	益子町地域創生活動費補助事業(小宅古墳群景観形成事業)	総事業費	0	0	400,000	600,400		1,000,400
		うち市町支出額	0	0	266,000	400,000		666,000
		うち県交付金	0	0	129,495	195,032		324,527
16	益子町地域創生活動費補助事業(益子の風土を未来に継ぐ、文化交流と地域コミュニティメディア創出事業)	総事業費	0	0	0	274,941	0	274,941
		うち市町支出額	0	0	0	178,000	0	178,000
		うち県交付金	0	0	0	89,000	0	89,000
市町計		総事業費	14,536,390	18,169,174	20,311,523	23,272,497	3,139,529	79,429,113
		うち市町支出額	13,141,090	13,625,471	15,271,221	15,916,727	2,478,000	60,432,509
		うち県交付金	1,066,043	1,310,735	3,129,605	2,878,032	764,311	9,148,726

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	賑わい創出事業補助金事業
事業主体の名称	益子町商工会
代表者の名称	会長 塚本 裕昭
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字益子2044-1
事業主体の概要	団体の目的:会員企業の繁栄・発展と地区内商工業の振興発展に寄与する 設立年月日:昭和35年12月16日 構成員:会長1名、副会長2名、理事27名、監事2名、会員数623名
当該事業に係る地域の現状と課題	商店街は、商品やサービスの提供の場であるばかりではなく、地域の暮らしを支える生活基盤として多様なコミュニティ機能を担っており、地域住民が安心安全に生活できる環境維持に大きく貢献している。しかしながら、近隣自治体や町内においても大型商業施設の出店が相次ぎ商店街利用者数、町内商店数が、10年間で251店から178店まで減少していることは大きな課題である(出典:益子町統計書)。 このような大切な役割のある商店街に、にぎわいを創出させ、地域コミュニティ活動を活発化し、商店街の魅力を強化することにより、郷土愛を育むとともに通年をととして外から人を呼び込む施策づくりをしていく必要がある。
事業目的	各商店街に花の苗を配布し、栽培をしてもらうことで、地域内住民の世代を超えた活動・交流を促進するとともに、住民の郷土愛を醸成する。 また、商店が連携して景観を向上させることにより地域の魅力を高め観光客の回遊を促すことで、誘客と滞在時間の延伸を図り、通年型の賑わう観光まちづくりを実現する。 更に、各種イベントを実施することで、商店街の魅力を町内外に発信し新たな観光客を呼び込むとともに、地域住民の世代を超えた連携・交流を図る。
事業概要	【令和2年度】 商店街は、多様なコミュニティ機能を担い地域住民が安心安全に生活できる環境維持への役割を果たしてきたが、大型商業施設の増加や少子高齢化、人口減少による需要の縮小から商店街の衰退が課題となっている。そのため、地域の人々の賑わいある交流と観光客誘客の拡大を図り交流人口を創出するため以下の事業を実施し、地方創生の充実・強化につなげる。 《商店街景観向上事業》 商店街の景観向上を目的に花いっぱい運動と店頭清掃周知徹底運動を6月16日と11月18・26日に実施した。 マリーゴールド・ペゴニア・ビオラ・パンジー等の花苗5,200ポットを各商店街等に配布し、地域が一体となって商店街の花いっぱい運動に取り組むことで地域住民間の交流を促進するとともに、景観の向上により賑わいある商店街の形成と観光客の誘客を図った。 (配布先:益子本通り、場内坂、里山の会、益子参考館前商店街など) 《地域活性化及び観光客誘客事業》 商店街に賑わいを創出するために、益子本通り街路灯フラッグリニューアル事業を実施した。 魅力ある商店街を広くPRするとともに、フラッグを一新することにより新たな景観や雰囲気での賑わいを創出し、各小売店への集客と販売促進を目標に事業を行った。 【令和3年度以降】 ・以降も同様に、商店街に賑わいを創出させるための景観向上事業や観光客誘客事業を引き続き実施する (花いっぱい運動、・ビルマ汁PR事業、・ましこTOYBOX事業、・雑めぐり事業)
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	観光客誘客の拡大…KPI:観光客入込数(H26:185万人→R2:295万人)【R1実績290.9万人】 :観光客宿泊者数(H26:1.7万人→R2:5万人)【R1実績4.8万人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	賑わい創出補助金事業 ・花いっぱい運動 ・ビルマ汁PR事業 ・ましこTOYBOX事業 ・雑めぐり事業	賑わい創出補助金事業 ・花いっぱい運動 ・ビルマ汁PR事業 ・ましこTOYBOX事業 ・雑めぐり事業	賑わい創出補助金事業 ・花いっぱい運動		賑わい創出補助金事業 ・花いっぱい運動 ・ビルマ汁PR事業 ・ましこTOYBOX事業 ・雑めぐり事業
事業費	1,574,780	1,365,196	1,096,294	4,036,270	1,355,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	500,000	1,500,000	500,000
うち県交付金	250,000	250,000	250,000	750,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,074,780	865,196	596,294	2,536,270	855,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	産業建設部観光商工課商工係
担当者名	仁平 毅
電話	0285-72-8845
FAX	0285-70-1180
E-mail	kankou@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	賑わい創出事業補助金事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町交付金(賑わい創出事業補助金)	500,000	
商工会事業費	596,294	
雑入	0	
計	1,096,294	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費				0	
消耗品費	1,096,294	500,000	250,000	596,294	花苗代、商店街旗代等
燃料費				0	
食料費				0	
印刷製本費				0	
保険料				0	
使用料及び手数料				0	
通信運搬費				0	
委託料				0	
計	1,096,294	500,000	250,000	596,294	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	ましこ町民大学まちづくり事業
事業主体の名称	ましこ町民大学第7期生
代表者の名称	上野 健
事業主体の所在	栃木県芳賀郡益子町大字山本2474-7
事業主体の概要	<p>▼団体の目的: 令和元年度実施事業である「ましこ町民大学アクションプラン」の実行のために設立</p> <p>▼設立年月日: 令和2年2月8日</p> <p>▼構成員等: 上野健、小林智史、中田晃子、本間昇、三田進、大山由紀菜、長谷川明美、古澤愛、諸田秀之、吉田芳文</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>▼益子町では、平成10年～13年の4年間で開設した「ましこ町民大学」の卒業生119名が、現在、それぞれの地域や立場で活躍している。</p> <p>▼しかしながら、現在活躍している卒業生は、当時の平均年齢で54歳、そこから17年が経過し、平均年齢は74歳と高齢化が進んでおり、今後の地域活動を担う後継者の育成が課題となっている。</p> <p>▼そこで、自分たちの住む町の良さや問題点を学ぶ機会を設けることで、地域への関心を醸成し、地域の課題解決に取り組む協働のまちづくりの実践者を育成するため、昨年度に引き続き町民大学第7期を実施した。</p> <p>▼講座の中で、グループごとにテーマを決め、自分達に出来ることでまちづくりを実践していく「アクションプラン」を作成した。令和2年度はその実践の年になる。</p>
事業目的	<p>▼ましこ町民大学の卒業生が益子町まちづくり基本条例の住民自治の考えにより、地域課題の解決や、より良い地域づくりに関する実践活動を通じた人材育成を目的とする。</p>
事業概要	<p>▼近所づきあいが希薄となりつつあり、高齢者が家で過ごすことが多くなって健康寿命に影響を与えかねない。</p> <p>▼そこで、自治会の協力を得て、田野・益子・七井の各地区単位で「陽だまり広場」を実施し、雑談、昔遊び、お菓子づくり、困りごと</p> <p>の相談など、年齢や性別を問わずに参加できる場を提供していき、これにより、お互いに助け合う深い絆のコミュニティの構築を企画した。</p> <p>▼しかし、昨今のコロナ禍にあつて、集会を催すことが困難であることから一時見送ることとし、今年度は「陽だまり広場」にも提供を</p> <p>予定していたもう一つの企画であるハーブづくりを中心に活動を行った。</p> <p>▼ハーブづくりは比較的栽培し易く、また自然薬としても多様な効用があるといわれている。そこで、町内に増えつつある休耕地(10aを賃借)を利用してハーブを栽培し、「陽だまり広場」に提供するなど新たな地域コミュニティづくりのツールとする。</p> <p>また、一方で「道の駅ましこ」で販売し、その収益を今後の活動資金とし、いずれは益子を「ハーブの里」として拡大させていく企画である。</p> <p>▼今年度は初年度ということもあり、試験的にミント・ルッコラ・バジルの3種類を栽培。そして「道の駅ましこ」で販売し、わずかではあるが収益を上げた。※ミント18束、ルッコラ7束、バジル19束を各250円で販売</p> <p>▼今後は栽培するハーブの種類や出荷量を増やし、「陽だまり広場」への提供や販売量も増加させるなど、少しずつ事業を拡大していく予定である。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載</p> <p>町民学士認定者数 令和元年度220人 → 令和2年度250人</p> <p>町民学士認定実績 平成30年度177人 → 令和元年度188人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種団体と連携して、イベント等でカードを作るワークショップを行う。 Facebookを活用し、町民視点で益子町の紹介発信する 清掃事業、案内看板・バイクスタンドの設置 子育て支援センターの字事業にボランティアで支援。 	<ul style="list-style-type: none"> 益子に関心と愛着を持ってもらう機会作りとなるような農業体験や自然体験活動事業を実施・展開していく。 益子町の様々な施設やお店の情報をジャンル別にまとめたマップを作成、置する。 高齢者世帯の家庭訪問を行い、会話等しながら一緒に過ごす見守り活動等を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「陽だまり広場」を実施し、雑談、昔遊び、お菓子づくり、困りごとの相談など、年齢や性別を問わずに参加できる場を提供していく。これにより、お互いに助け合う深い絆のコミュニティの構築が期待できる。 町内に増えつつある休耕地を利用して、ハーブを育て、「陽だまり広場」とリンクさせるなど新たな地域コミュニティづくりのツールとしていく。 		当該前年度の町民大学で計画を作成
事業費	214,200	69,382	150,054	433,636	100,000
市町支出金(ソフト事業分)	141,000	46,000	100,000	287,000	66,000
うち県交付金	70,000	23,000	19,750	112,750	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	73,200	23,382	50,054	146,636	34,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課生涯学習係
担当者名	木間 俊哉
電話	0285-72-3101
FAX	0285-72-3110
E-mail	syougai@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ましこ町民大学まちづくり事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
ましこ町民大学まちづくり活動補助金	100,000	
会員自費	50,054	
計	150,054	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	12,194	8,500	0	3,694	種苗、肥料、包装紙、事務用品
食糧費	0	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	0	
手数料	7,000	4,500	0	2,500	道の駅出品登録料
委託料	95,360	63,500	19,750	31,860	農園管理、耕起作業委託
使用料及び賃借料	35,500	23,500	0	12,000	農園、作業場使用料
計	150,054	100,000	19,750	50,054	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	益子町
事業名	花のまちづくり事業
事業主体の名称	ましこ花のまちづくり実行委員会
代表者の名称	ましこ花のまちづくり実行委員長 大塚 朋之
事業主体の所在	〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町大字益子3667番地3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 益子町の花のまちづくり事業推進するため ・設立年月日: 平成20年7月9日 ・構成員等: 事務局(益子町生涯学習課)及び関係団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本町は益子焼をはじめ観光の町として多くの地域資源を有する一方、高齢化や人口減少などの問題を抱えており、地域の活力の維持や新たな地域資源を創り出すことが年々難しくなっている。</p> <p>花のまちづくり事業は、大規模花畑の作付やイベントを地域住民が主体となって取り組むことで、新たな地域資源を創り出すと同時に、地域の活性化を図る目的でスタートし、ひまわり、コスモス各花畑は昨年度無事、11回目を迎えることができた。また、平成30年度より菜の花・桜の花畑が加わり「ましこ3大花祭り」として益子町の新たな名物として定着してきている。その結果、県内外から益子焼だけではなく、各花畑を目的とした観光客も多く訪れるようになり、その知名度は年々高まっている。</p> <p>今後、本事業を継続・発展していくことで交流人口の増加や地域活性化へ繋げ、現在から将来に渡り活気あふれる魅力的な町となるよう取り組みを続けていく必要がある。</p>
事業目的	<p>自然豊かな美しい里山の風景を有する上山、生田目、小宅の3地区において、大規模花畑イベントを開催することで、新たな町の魅力を創出し、交流人口の増加・滞在時間の延伸を図る。</p> <p>また、地域住民が主体となり花の栽培を行うことで、地域間及び世代間の交流を促進させ、地域活性化・郷土愛の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模花畑の実施…例年であれば3月に菜の花・桜、8月にひまわり、10月にコスモス祭りをそれぞれ実施していたが、令和2年度については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、菜の花・桜は観覧のみとし、ひまわり及びコスモス祭りについては中止とした。 <p>《開催期間》菜の花・桜 ⇒ 3月下旬～4月上旬 ※観覧のみ 来場者数約12,600人 ひまわり ⇒ 中止 コスモス ⇒ 中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等の花装飾…公共施設や町内教育機関に花の苗を配布し装飾を行うことにより、益子町を歴史文化と自然が調和した魅力ある町とする。 <p>《配布実績》マリーゴールド ⇒ 10,000株配布(5月) ビオラ ⇒ 5,400株配布(11・12月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラワーボランティア活動…フラワーボランティア会員による花苗の栽培・植え付け等の活動することで自然を愛する心を育む。 マリーゴールド播種活動 12,000粒(3月) <p>【令和3年度】</p> <p>上記事業を継続的に実施する。また、各花祭りについては新規事業及び県内外への効果的なPR方法を企画し、実施することで益子焼を目当てとした層ではない、新たな層の観光客の誘客をより促す。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標: 風土に根ざした産業をつくる</p> <p>KPI:</p> <p>年間観光客入込数 【基準値】平成26年度 185万人 【目標値】令和元年度 285万人 令和2年度295万人 【実績値】令和元年度 290.9万人</p> <p>観光客宿泊者数 【基準値】平成26年度 1.7万人 【目標値】令和元年度 4.9万人 令和2年度 5万人 【実績値】令和元年度 4.8万人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・花のまちづくり事業 ①オープニングセレモニー ②町内幼稚園等の演奏等 ③農産物の販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・花のまちづくり事業 ①オープニングセレモニー ②町内幼稚園等の演奏等 ③農産物の販売 	<ul style="list-style-type: none"> ・花のまちづくり事業 ・公共施設等の花装飾 ・フラワーボランティア活動 		<ul style="list-style-type: none"> ・3大花祭りの開催 ・公共施設等の花装飾 ・フラワーボランティア活動
事業費	11,000,000	11,000,000	1,015,181	23,015,181	11,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,331,000	2,246,386	1,000,000	5,577,386	2,576,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	494,561	2,494,561	
市町支出金(ハード事業分)	8,669,000	8,753,614	0	17,422,614	8,424,000
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	15,181	15,181	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課
担当者名	山田 沙千子
電話	0285-72-3101
FAX	0285-72-3110
E-mail	syougai@town.mashiko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	益子町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ましこ花のまちづくり事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
交付金	1,000,000	町交付金
自己資金	15,175	繰越金より
雑収入	6	預金利子等
計	1,015,181	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	992,165	976,984	488,492	15,181	案内看板材料費等、菜の花種子代
食糧費	10,878	10,878	0	0	会議時飲み物代
通信運搬費	1,688	1,688	844	0	実行委員会関係通知等送付代
手数料	550	550	275	0	振込手数料、ゴミ処分量
ゴミ処理料	0	0	0	0	
予備費	0	0	0	0	
広告宣伝費	9,900	9,900	4,950	0	
計	1,015,181	1,000,000	494,561	15,181	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合